

学校教育目標
ふるさとを愛し、
心豊かでたくましく生きる子どもの育成

研究主題
「主体的に課題に取り組み、共に学び続ける子ども」
～「問い」をもち、考えを伝えあい深め合う授業づくり～

鹿島ふれあい学園めぎす子ども像
～自立した学びの育成～
○かしこく 自ら学ぶ子
○しっかり 心身をきたえる子
○まごころで 思いやる子

めぎす子どもの姿 ・課題を見つけ、見通しをもって粘り強く取り組もうとする。 ・相手に分かりやすく伝えようとする。
・既習事項やくらしの中から、自分の考えをもとうとする。 ・自分と友達の考えを比べ、交流しながら、自分の考えを広げたり深めたりしようとする。

児童の実態	具体的な子どもの姿	手立て ・ 支援
<p>強み</p> <ul style="list-style-type: none"> 落ち着いて学習できる。課題に対して素直に取り組む。 分かることは進んで発表できる。 友達と助け合いながら学習できる。教えたり、教えられたりが抵抗なくでき、小グループでの話し合いは意欲的。 絵や図を使って表そうとしている。 できそうだなと思うこと、自信のあることはやれる。 <p>弱み</p> <ul style="list-style-type: none"> 個の力の差があり、問題場面の意味理解が難しい児童もいる。 既習事項は、ノートや掲示などを利用して確かめるようになってきている。 全体場で発表する子は増えつつある。 小グループの話し合いで、立場の固定化（教える・教えられる）がみられる。そこから全体の話し合いに広がらない。 全体で伝えることはできても、話し合いに深まりがみられない。 友達の話をしっかり聞いていない。 粘り強く自分の力で解いてみようという意欲が高まってきている。 	<p>導入つかむ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「なぜ〇〇？」「〇〇を考えたい(したい)」「あれ？」といった思いや考えをもつ →本時のめあてにつなげる 1時間の見通しをもって学習に向かう <p>展開</p> <p>個人思考 ↔ 伝え合い</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自分の考えがもてない</p> <ul style="list-style-type: none"> 「わからない」「～が難しい」と言える。 ヘルプを出せる、質問できる。 自分の力で解いてみようとする。 わからなくても粘り強く解いてみようとする。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自分の考えがもてる</p> <ul style="list-style-type: none"> 「わかった」で終わらない。 …何を根拠にそう考えるか言うことができる。 (既習、他教科との関連、経験等) 「だって、〇年生のときに…」 「理科で、…」 </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> なぜそう考えたか、友だちに分かりやすく伝えることができる。 友だちの意見をよく聴いて、納得し、自分の考えをもつことができる。 友だちの考えと自分の考えと比べて考える。 よりよい方法や新たな考えに気付く。 自分の考えを見つめなおし、再構築する。 <p>終末まとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> めあてを意識してふり返しをする。 次時への意欲をもつ 「わかった」、「できるようになった」、「もつと…」 <p>土台</p> <ul style="list-style-type: none"> 「やってみよう」「言ってみよう」等のみんなの合言葉。安心して学ぶことができる雰囲気づくり 聞き手・話し手を育てる…話し合う力をつける(全教科) ノートのまとめ方…「自分の学びの倉庫」 	<p>課題・中心発問の工夫…子どもが「問い」をもてるように</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時の振り返りを生かし、前時との違いから本時の課題を提示 子どもが知りたいことを見つけられることができるような問いかけ 子どもが興味・関心をもつことができる教材等の提示(身近、体験) 何を求めるのか(考えるのか)子どもたちが理解できるような問題の提示の仕方 (絵・図・具体物を使う、単純・極端な場面を設定する) 解決の見通しをもつための導入の工夫「全員が土台にあがる」 <div style="text-align: center;"> <p>考えをもつ</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>考えをもつための支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 時間の確保 デジタル教材の活用 ノートや「学びの倉庫」の活用 個に応じた指導と支援の工夫 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>考えを認め合う・深めるための支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 構造的な板書・考えや立場の明示 ICTの活用 ゆさぶり、返し「それってどういうこと」「続きが言える？」 学習形態の工夫 個⇔小グループ⇔全体 タイミングは？ 小集団でねらうことは？ </div> </div> <p>ポイントの確認 相手の考えを自分の言葉にする 自分の言葉でまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> 時間の確保 どんな力がついたか(資質・能力)